

みどりの風

令和2年6月29日（月） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強します
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

苦渋の決断。小体連を中止します。

10月14日（水）に開催を予定していた五島市小学校体育連合大会（小体連）を中止することに決定しました。これまで、新型コロナウイルス感染対策を講じた上での実施を模索してきましたが、大会を開催した場合、船やタクシー、バスを利用して移動する際や応援テント内、種目ごとの招集場所での「密」を防ぐことができないと判断し、今年度の開催を断念しました。特に緑小では、4日後の10月18日（日）に運動会を控えており子ども達の加重負担が心配されていただけに、中止やむなしと捉えています。

先週金曜日の朝、5、6年生全員を体育館に集めて、小体連中止の説明をしました。初めて小体連に臨むはずだった5年生、そして最後の大会が消えてしまった6年生にとって複雑な思いが巡っていることと想像しますが、子ども達全員が中止の理由を静かに受け止めてくれたように感じます。保護者の皆様も、大変楽しみにしていた行事かと思いますが子ども達の健康維持を第一に考えた措置であることをご理解ください。

五島市小学校体育連合会では、小体連中止の代替措置として、2つの取組について準備を進めています。1つは、実情に応じて学校ごとに「記録会」を実施し、一人一人に記録証を渡すというプランです。緑小では、中央公園陸上競技場を舞台に単独の記録会を実施したいと考えています。例えば、全員が出場予定だった100m走の記録をとったり、学級対抗の選抜、あるいは全員リレーの競走をしたりする記録会です。今後、関係職員間で具体案をまとめ、実現していきたいと考えています。細かなプランがまとまりましたら、ご案内いたしますので、楽しみにしておいてください。密を避けて応援してください。

もう一つは、大会種目ごとにチャレンジランキングシステムを導入し、子ども達のやる気を高める取組です。これは、体育授業で測定した自己記録をパソコンで登録し、市内全体で集計することで、自己記録が全体のどの位に位置するか確認できる仕組みです。チャレンジ期限を2学期末とすることで、自己記録が伸びるごとに更新し、その都度ランクを確認できるようにしています。子ども達一人一人が自己目標を設定し、その実現に向けて努力しやすい環境を提供することがねらいです。100m走・800m走・走り幅跳び・走り高跳び・400mRの大会種目に「50m走」を加えることで、自校では100mの記録を測ることができない学校に配慮しています。1人で何種目にもチャレンジできるので、しっかり運動して記録を伸ばしてほしいと願います。そのことが即ち、運動会の練習に繋がると思っています。ただ、緑小運動場が使えるのは暑い最中の9月末まで。時間を有効に使って体力向上を図っていきます。

小体連には、個々の子どもが目標を立てて練習に取り組み、本番でその成果を発揮するという目的があります。全力を尽くして競い合うことを通して他校の子ども達との交流を深めるというもう一つの目的は果たせませんが、高い目標を掲げて努力し実現するという「たくましい緑っ子」を目指してほしいと願います。ご家庭でも、子ども達の頑張りを支えてください。

